

令和6年度第2回月形町地域公共交通活性化協議会（令和6年7月22日）

1 開 会

2 挨拶 上坂町長

3 議 事

(1) 会長、副会長の選任について

- ・堀委員を会長として指名
- ・平吹委員を副会長として指名

【質問・意見等】

なし

(2) 部会の設置、部会委員、部会長及び監査委員の指名について

(事務局)

部会の設置について、前期まで地域部会及び幹線部会の設置をしていたが、今期においては、運行体制が大きく変わる協議案件がないことから、協議事項は親会で行うこととし、2部会については、休止とし、運賃部会設置規定に基づく運賃部会のみを設置とする。

(会長)

- ・第1号委員に堀会長を指名
- ・第2号委員に宮本委員を指名
- ・第3号委員に経亀委員を指名
- ・第4号委員に奈良委員、斉藤委員、下段委員を指名

(町長)

- ・第5号委員に尾崎委員、熊倉委員を指名

(会長)

- ・監査委員に与佐岡委員、新関委員を指名

【質問・意見等】

なし

(3) 報告第1号 札沼線代替バス月形当別線地域旅客運送サービス継続事業実施計画について【資料1】

事務局から資料のとおり説明

【質問・意見等】

なし

(4) 報告第2号 中央バス月形線代替交通について

事務局から資料のとおり説明

【質問・意見等】

(委員)

地域の利用者に親しまれるように、車両の愛称やラッピングを考えてはどうか。

(事務局)

今後、岩見沢市と運行事業者と協議する。JR札沼線廃止時の代替バスへの転換ではなく、バス路線からバス路線への転換のため、なるべくシンプルな形にしようと考えている。

(委員)

現代では、大抵の方はスマートフォンを活用しながら行動しているので、Googleマップ等にも掲載できると良い。

(事務局)

IC系については、随時取り入れていきたいと考えている。北海道新聞で、南空知地域公共交通活性化協議会において時刻表アプリを導入するとのことだったため、そちらへの掲載もできればと考えている。

(委員)

南空知地域公共交通活性化協議会で導入を検討しているアプリについては、現在選定中である。ダイヤ改正、GTF Sのデータ出力等ができるようなアプリを選定したい。

(委員)

目標利用者数が3万5千人とあるが、令和3年度の利用者数だと3万8千人ということから、やってやれない数字ではないと感じる。この3年間で、これほど利用者数が減少してしまった理由として、新型コロナウイルスの影響のほかには何かあったりするのかな。

(事務局)

新型コロナウイルス感染症の影響による便数の減、月形町内の学生の減少や進学先の変化による影響が大きな点である。

(委員)

月形線の利用者の割合として、月形から北村までの利用者数と北村から岩見沢までの利用者数の割合は出すことはできるのか。主旨として、一日48人の利用という目標人数を達成するために月形町から何人利用しなくてはならないか、又は岩見沢市から何人利用しなくてはならないかを整理できれば相応の議論の余地があると考えられる。

また、当別町の代替バスの目標利用者数は、月形町からの利用者数が増えないと達成が難しい現状であるが、3,000人の人口がいる月形町では、一日あたり26人の利用者数はやってやれない数字ではないと思う。このように、路線を維持するには、どの市町が一日あたり何人の利用があれば良いかを明確にし、いずれは住民に対しても周知する必要があると感じている。

(5) その他

①北海道運輸局札幌運輸支局より情報提供

- ・北海道運輸局「交通空白」解消本部の立ち上げについて
- ・自家用車活用事業及び自家用車有償旅客運送制度について

②事務局より情報提供

- ・札沼線代替バス月形当別線活用事例について
- ・南そらち9市町日帰りさんぽについて

・バスベイの設置について（南地区広域集落会館前・月形温泉前）

4 閉 会

午後4時00分終了